

	第120回 発電用設備規格委員会 原子力専門委員会 議事録
1.	日 時：2024年7月4日（木）10:00～12:00
2.	場 所： WEB会議：WebEx（ミーティング番号：2515 482 2598） 電話会議：会議ID：2515 482 2598、電話番号：+81-34-578-4002
3.	出席者：委員20名（委員代理含む）、敬称略
	【委員】 高屋委員長（JAEA）、中島副委員長（MHI）、山田幹事（中部）、稲田（東電HD）、 永田（日立GE）、野村（CSE）、望月（大阪大）、佐藤（発電技検）、三浦（電中研）、 定廣（富士電機）、今井（東電HD）、荒川（テプシス）、清水（IHI）、佐藤（JANSI）、 小林（EPRI）中山（JEA）、美原（鹿島）、デフランコ（JGC）、町田（原電）、柳沢（JSW）、
	【委員代理】
	【欠 席】 佐々木（川重）
	【常時参加者】
	【オブザーバ】 志田（東電HD）、藤田（東芝ESS）、小口、五十棲（MHI）、西岡（IHI）、清水（日立GE）
	【事務局】
4.	配布資料
	添付 配布資料一覧参照
5.	議事内容（定例）
(1)	開 会
	高屋委員長より委員会開会の宣言が行われた。 出席者を点呼し、定足数（委員総数の2/3以上）を満足することを確認した。 資料120-0により議事次第案の確認が行われ、委員全員の賛成により承認された。 高屋委員長より本日の臨時開催について、溶接規格に係るNRA技術評価においてJSME質疑応答による対応を行っているところ、NRAより早期の提示が求められたことから臨時の原子力専門委員会を開催することとした旨が説明された。
6.	議事内容（原子力発電設備規格に関する審議）
(1)	溶接分科会【資料120-10】
	藤田幹事から以下の提案について説明があった。 ・（資料120-10-3）溶接方法ごとに溶接姿勢を変える場合の確認項目に関する質問（QNB2020-06）： 本件は、原専メール審議 No.153 にて 7/5 まで投票されている。7/4 時点で4件のご意見があり、意見回答案と修正案について提示した。委員会でのご意見をもとに修文を行った。本件は、メール審議が完了し追加コメントがないこと、また、必要があれば編集上の修正を行い、最終的に原専3役のご了解を得ることを条件に、挙手による賛成多数によって可決された。 （修正文） 【質問】 第2部「WP-382 溶接姿勢」において、衝撃試験を必要とする場合の確認項目として「溶接姿勢は、溶接姿勢ごとの区分とする。」と記載されている。そこで、溶接姿勢の異なる溶接方法をひとつの溶接施工法の中で組合せて用いる場合、溶接姿勢は溶接方法ごとに設定区分すると解釈してよいか。 【回答案】 よい。

	ただし、「溶接施工法確認試験の溶接姿勢」と「認定される溶接姿勢」は、溶接方法ごとに表 WP-382-1 のとおりとする。 【背景】 具体的には、次のような例について確認項目の溶接姿勢を確認するものである。 溶接方法を下記の①及び②を組み合わせた T+SM の場合、T（ティグ溶接）では全ての姿勢で認定だが、SM（自動マグ溶接）では下向姿勢のみで認定される。 ①溶接施工法確認試験の溶接を水平固定で T で溶接を行った場合 ②溶接施工法確認試験の溶接を下向姿勢で SM で溶接を行った場合 図内の文も「水平固定にて T で溶接」に修正。 ・（資料 120-10-1）溶接規格 2020 年版で取得した溶接資格を、規格の旧年版の適用工事へ適用する場合に関する質問（QNB2020-08）： 質問の対象となる溶接規格の対象は2007年版と2012年版であるため、2007年版に対する質問として受け付けること、また、2007年版で受け付ければ、2012年版も併記して対象となることが確認された。技量については、年版ごとに差異があり、回答としても、年版の違いにとる注意点としてただし書きが必要となるのではなどの多数のご意見が出された。このため、まずは、15 日間のメール審議を行い、ご意見を頂くことが挙手による賛成多数によって可決された。投票 No.は 155。なお、メール審議でご意見がだされ、再度審議が必要な場合は、再メール審議することについても了承された。 ・（資料 120-10-2）発電用火力設備の技術解釈の適用年版に関する質問（QNB2020-07）： 15 日間のメール審議を行うことが挙手による賛成多数によって可決された。投票 No.は 156。なお、メール審議でご意見がだされ、再度審議が必要な場合は、再メール審議することについても了承された。
	以 上

添付

第 120 回原子力専門委員会 配布資料一覧

【10：溶接分科会】

資料 No. 120-10-0_原専委員会_溶接分科会審議案件. pdf

資料 No. 120-10-1：質問 QNB2020-08_溶接資格. pdf

資料 No. 120-10-2：質問 QNB2020-07_発電用火力設備の技術基準. pdf

資料 No. 120-10-3：W24-07_質問 QNB2020-06_衝撃試験付き溶接施工法の溶接姿勢. pdf